～日本の小学校のふしぎ～

おやつを持っていったら怒られた！

学校にはおやつを持っていってはいけません。「勉強に必要のないものは持っていかない」というルールがあります。おなかが空くようなら、朝ご飯や給食をしっかり食べるようにしましょう！

学校の掃除をさせられた！

日本では、子どもたち自身で学校の掃除をします。自分たちで掃除をすることで「モノを大切にする」「きれいに使う」という考え方が育ちます。

毎日の宿題が多すぎる！

小さいころから勉強の習慣をつけましょう。学校だけでなく、家で自分で勉強することも大切です。お家の人が「宿題やろうね」と声をかけて横で見守るだけで、子どもは安心して宿題に取り組めます。

たいせつ！親子のコミュニケーション！

子どもが小学校に入ったら、積極的に学校の様子を聞くようにしましょう。親子でしっかり話をすることで **①学校の様子がわかる ②子どもの母語が育つ ③子どもが学校で困っていることを把握しやすい** など･･･いいことがたくさんあります。また、普段からコミュニケーションをしっかりとることで、子どもが本当に困った時も相談をしやすくなります。子どもが嬉しかったこと、困ったことなどを、気軽に話せる環境を作ってあげましょう。

家庭での使用言語について

愛知教育大学外国人児童生徒支援リソースルーム

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1 Tel:0566-26-2219 Fax: 0566-26-2566

e-mail: gendaigp@auecc.aichi-edu.ac.jp HP: http://www.resource-room.aichi-edu.ac.jp

このリーフレットは日本語版のほか、ポルトガル語版、スペイン語版、タガログ語版、中国語版、ベトナム語版、英語版があります。

国際ファミリーのための

日本語版

日本の小学校に入学する前に

（生活編）

イラスト：森田賢吾

子どもの未来を考えよう

小学校へ行こう！

～小学校は **キャリア教育** のスタートです～

- 自分の得意なことや苦手なことを知る
- 自分の役割に責任を持つことの大切さを知る
- 決められた時間を守って行動する
- ルールの必要性を知り、守る

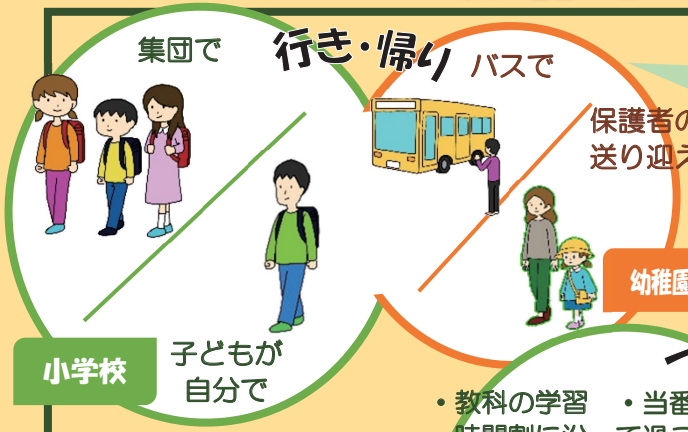
これらは、将来子どもが日本で働くために身につけておくべき姿勢につながります。家庭生活の中だけで身につけることは、なかなかできません。今しか受けることのできない教育を、いま子どもに受けてほしい！ことばや文化が違うからこそ、学べることがたくさんあります！

さあ、小学校へ行こう！

どこが　ちがうの？

小学校と幼稚園／保育園

行き・帰り



家から小学校まで、安全に通学するための道が決まっています。通学路といいます。

一日の過ごし方

・教科の学習　・当番活動など
時間割に沿って過ごします

小学校から持ち物や宿題の連絡があります。連絡帳に書いてあるので、毎日子どもと確認しましょう。

先生からの連絡

先生から子どもへ
子どもから保護者へ
伝えます。

毎日学校へ行こう！

子どもの体調がわるいとき以外は、学校を休ませないようにしましょう！学校を休むと勉強がわからなくなってしまいます。また、友だちとの関係や学校生活へのやる気にも影響します。家のお手伝いや、きょうだいのお世話もあるかもしれませんが、子どもが楽しく安心して学校に通えるような環境を整えましょう！

入学前に、これだけは・・・

できるかな？チェック✓しましょう！

まだできていないものは、入学までに練習しておくといいですね！

- ☐ 毎日決まった時間に早寝・早起きしている
  十分な睡眠が学習意欲を高めます。夜９時ごろまでには寝る習慣をつけるといいですね。
- ☐ 自分で着替えができる
- ☐ 箸を使い、20 分程度で食事ができる

- ☐ 自分の名前が言える
- ☐ 名前を呼ばれたら「はい」と返事ができる
- ☐ 困ったとき、誰かに伝えることができる
  - ☐トイレに行きたい　☐ おなかが痛い　☐気分がわるい

- ☐ 交通ルールを守れる
  - ☐信号を守れる　☐左右を確認して横断歩道を渡れる

- ☐ 「ありがとう」「ごめんなさい」が言える
- ☐ 危険なことはしない

～お父さん・お母さんへ～

- 小学校を欠席・遅刻・早退するときの、学校への電話連絡のしかたを確認しておきましょう。
- 将来、日本に永住して進学・就職をするのか、母国に戻るのか、子どものために考えておきましょう。

小学校への連絡